

進んで健康に働きかける子どもを育てる「歯・口の健康づくり」

－探求・試行活動を位置付けた活動構成を通して－

福岡県大野城市立御笠の森小学校

11学級326名

1. 研究主題について

(1) 主題の意味

進んで健康に働きかける子どもを育てる「歯・口の健康づくり」とは、歯・口の健康づくりを取り上げた教育活動（体育科保健領域，総合的な学習の時間，学級活動）を重点化し、望ましい生活習慣を保持増進する子どもを育てることである。

(2) 副主題の意味

探求・試行活動を位置付けた活動構成とは、教科・領域の特徴に応じて1単位時間や単元において、学習することをイメージし、活動してみ、さらにイメージし直し、活動し直す4つの活動を位置付けることである。

(3) 研究構想

体育科保健領域，総合的な学習の時間，学級活動において、探求・試行活動を位置付けた活動構成を、次の3つの視点から具体化する。

①進んで健康に働きかける教材化・題材化の3つの視点を設定する。

価値性（望ましい生活習慣に向かって、自己変革をすることができる）、関与性（子どもの健康課題や願いに合った追求ができる）、多様性（追求の視点やその解決方法を多様にもつことができる）の3点から工夫する。

②1単位時間に探求・試行活動を位置付けた活動構成を設定する。

出会う	理想と実態のズレから、望ましい生活習慣、改善方法をイメージする。
さぐる	イメージした内容と方法で活動してみる。
深める	活動をもとに望ましい生活習慣をイメージし直す。
生かす	再度、実際に活動する。

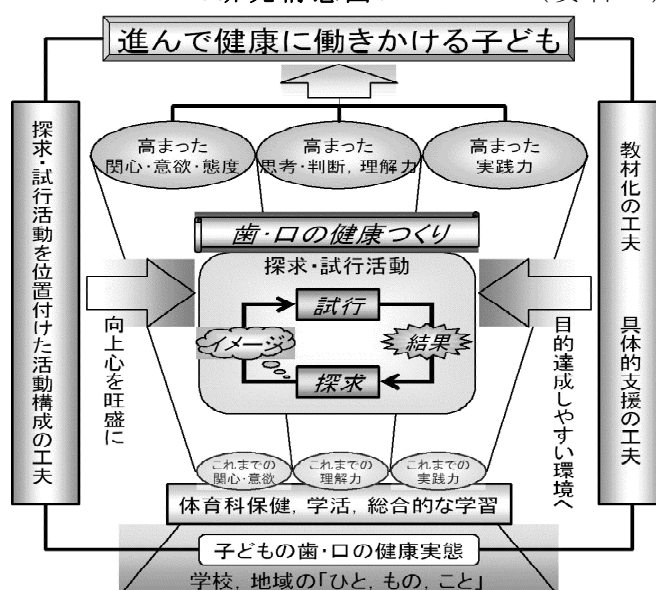
③探求・試行活動を活発にする

具体的支援の工夫

- 理想像の提示
- 書物・パソコンによる調査
- インタビュー
- ロールプレイング
- 養護教諭、栄養教諭の支援
- 学校歯科医の支援
- 観点を明確にした交流
- 解決方法の提示・選択
- 観点を絞った自己評価等

<研究構想図>

(資料1)



2. 実施した主な取組

(1) 学習指導の実践例

① 単元名 6 学年 体育科保健学習「病気の予防」 全 8 時間（本時 6 時）

② 本時の目標

○ 歯周病は、歯垢や歯石が歯にたまることによって歯を支えている骨が解け、歯のぐらつきや脱落に至る病気であること、またその予防には正しい食生活と正しいブラッシングが必要であることを理解できるようにする。

○ 歯垢を顕微鏡で観察する活動や、デンタルミラーや健康連絡簿を使って自分の歯周の状態を調べる活動を通して自分の歯周の状態に関心を持ち、歯周病を予防する生活について考えることができるようにする。

③ 学習活動と児童の反応

（資料 2）

段階	学習活動	児童の反応
出会う	1 歯垢を顕微鏡で観察し、その細菌によってむし歯だけでなく、歯周病が進行することを知り、本時学習のめあてをつかむ。 歯周病は、どんな病気なのか分かり、その予防法について調べよう。	まず、歯周病について簡単に説明した後、前時学習したむし歯の原因であるミュータンス菌が、歯周病の原因にもつながることを知らせた。そして、学校歯科医が自分の歯垢をとり、顕微鏡でミュータンス菌をテレビ画面に映し出した。動いているミュータンス菌を見た児童は、歯周病とはどんな病気なのか、またどのようにすれば予防できるのかという課題を持つことができた。  ＜学校歯科医による顕微鏡の映像を用いた説明＞
さぐる	2 自分の歯周病の状況を調べる。 ○ 歯周の状況を観る観点について、写真や模型を使った学校歯科医の説明を聞く。 ○ デンタルミラーや健康連絡簿を使って、歯周の状況を調べる。 ・ デンタルミラー 色、感触、見た目、出血 ・ 健康連絡簿 歯垢、歯石、歯ぐきの状態 【歯周の状況を知る探求・試行活動】 	学校歯科医から「自分の歯肉の状態を観察すれば、将来歯周病になる可能性がある程度分かる。」という話を聞いた子どもたちは、強い関心を持ってデンタルミラーと手鏡を使って自分の歯肉の観察を始めた。学習ノートの「色」「感触」「見た目」「出血」という 4 つの観点や健康な歯肉と歯周病の歯肉のカラー写真から、自分の歯肉の状態を繰り返し観て、自分の歯肉の健康状態を把握していった。また、健康連絡簿の 5 月に行った歯科検診の結果「歯垢の状態」「歯ぐきの状態」で、望ましくなかった児童は、特に注意深く観察していた。歯ぐきの色については、赤みを帯びている児童が数名見られ、学校歯科医に「大丈夫ですか。」と質問していた。学校歯科医の「歯みがきを丁寧にしていれば、すぐに健康な色になるよ。」という回答に児童は安心し、歯みがきという予防法に強い関心を持った。  ＜自分の歯を観察する児童＞

ふ か め る	3 歯周病の原因について学校歯科医の話を聞く。	歯周病の原因について詳しく知りたいという欲求を強めた子どもたちは、学校歯科医が黒板に書いた絵を見ながら、歯周病が進行する過程の話を熱心に聞いていた。特に、歯垢中のミュータンス菌が歯を支えている骨を溶かしてしまう話や歯周ポケットの深さを測ることによって進行状況がわかるという話には、強い関心を示した。  <学校歯科医による説明>
生 か す	4 歯周病の予防法について学校歯科医の話を聞き、まとめる。 ○望ましい食生活 ○歯みがきの習慣化 ○正しいブラッシング	学校歯科医から「正しい食生活」「歯磨きの習慣化」「正しいブラッシング」を行うことによって歯周病は予防することができることを聞き、子どもたちは実戦への意欲を高めていった。正しい磨き方で、歯みがきをやってみて、毎日の給食後の歯みがきの実践に意欲を持った。

(2) その他の主な学習指導

①第2学年 学級活動「めざせ、かみかみ名人」

栄養教諭と学級担任とのチーム・ティーチングを工夫することで、よく噛んで食べることのよさについてとらえさせ、生活に活かす学習を実施した。学習活動としては、スルメを噛む体験活動を通して課題意欲を持ち、資料や給食カレンダー、栄養教諭へのインタビュー等で調べる学習を行った。



<栄養教諭の支援>

②第3学年 総合的な学習の時間「心と体においしいおやつ」

日頃食べているおやつの材料に砂糖や塩が多く含まれていることに気づかせ、おやつの摂り方と自分の健康について養護教諭や調理員などにインタビューし、健康によいおやつを調べることで、選択したりつくったりすることができるようにした。



<試飲している児童>

(3) 日常の実践活動

①給食後の歯みがき

給食後に全校で歯みがき指導を行っている。児童は、歯ブラシの持ち方や歯のみがき方の掲示物を見ながら、主体的に歯をみがくことができている。食後の歯みがきを定着させ、習慣化させることで、家庭生活の中での歯みがきへの意識も高まってきている。



<歯を磨いている児童>

また、学校だよりや保健だよりでの啓発により保護者の意識も高まってきていることが、学校保健安全委員会での報告で明らかになった。

②児童保健委員会の活動「歯について知ろう!!歯ッピーランド」

6月4日の「むし歯予防デー」に合わせて、保健委員会では「歯」について学ぶことができるイベントを開催した。正しい歯のみがき方を獲得する体験コーナーや〇×クイズ、むし歯の仕組みを紙芝居で学ぶコーナーなどが設けられ、子どもたちは楽しみながら「歯」の健康への関心を高めた。



<楽しい会場>

③学校保健安全委員会

第3回目の学校保健安全委員会において、低学年の授業実践の報告を行い、学校歯科医の河波先生から助言をいただいた。低学年においては、親による「しあげみがき」の必要があること、傾向として下の歯に比べて上の歯の歯みがきにかかる時間が短いことを指摘してもらい、PTA学校保健安全だよりで全家庭に啓発した。



<報告の様子>

④歯・口に関する健康相談

歯科検診結果や日常の歯みがきの中で気になっていることはないか、事前に調査を行い、学校歯科医の先生による健康相談を実施した。歯が抜けたけどなかなか生えてこないことを心配している児童や、「もう全部おとなの歯になっていきますか。」と尋ねる児童がいた。



<健康相談の様子>

(4)アンケート調査の実施(1部掲載)

全校児童対象に19項目からなる5段階のアンケート調査を実施した。

1回目(H.21年度2学期) 2回目(H.21年度3学期) (資料3)

調査項目		++	+	+-	-	--
①歯みがきは好きですか。 (興味関心)	1回目	28%	42%	22%	7%	1%
	2回目	24%	53%	17%	6%	0%
②歯は磨き方を変えた方がよいと思いますか。(思考)	1回目	48%	36%	10%	5%	1%
	2回目	64%	27%	6%	3%	0%
③前歯や奥歯、裏側など磨き方を変えていますか。(実践)	1回目	49%	31%	10%	7%	3%
	2回目	57%	28%	7%	6%	2%

①の興味関心面の「+」の高まりは、日常的な歯みがきの取組が効果的に働いた結果と推察する。また、②の思考面の「++」の大幅な高まりは、学習活動の積み上げにより、理解が深まった結果と推察する。③の実践面の「++」の高まりは、学習指導と日常的な歯みがきとを関連させて取り組んだ成果ととらえる。

3. 成果と課題

- 3つの視点で教材・題材を設定したことは、進んで望ましい生活習慣を保持増進する児童を育てるの有効であり、特に価値性を重視したことが効果的であった。
- 探求・試行活動を行う際、学校歯科医等の専門家と連携することで、児童主体で質のよい追求に高めることができた。
- 望ましい生活習慣に高め、定着させるため、6年間を通した「単元・題材の配列の見直し」を図り、さらに効果的な年間指導計画に高める。